

令和6年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

知財活用企業(特許)

株式会社寺岡精工

代表取締役社長 山本 宏輔

企業概要

<https://www.teraokaseiko.com/>

所在地：東京都大田区久が原5-13-12

創業：1925年

資本金：100百万円

従業員：3,835人(連結)

事業概要：電子はかり、電子計量値付システム、自動計量包装値付機、POSシステム、POP作製システム、仕分けシステム、カウンティングスケール、自動倉庫管理システムなどの製造、販売、保守

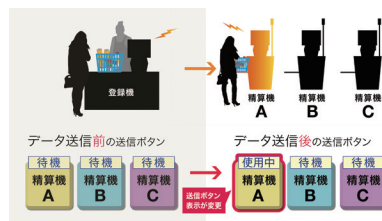


受賞のポイント

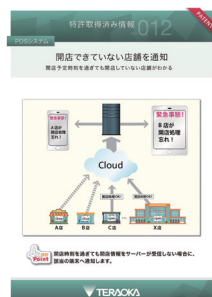
- ①事業に資する知的財産権＝権利行使しやすい知的財産権を追求するため、事業部門からの提案にとどまらず、知財部門主導による発明発掘を心がけ、さらに出願決定は知財部門の裁量で実施。知財部門は代表取締役会長・社長の直轄であり、新製品に不可欠な知財・デザインの意思決定や権利行使の方針等の意思決定スピードは迅速。権利行使しやすい権利を取得すべく、分割出願も積極的に活用。
- ②新製品の構想会議等は知財部門が主催・運営。特許調査や他社の模倣防止等知財の観点を通らさずスムーズな出願につなげる体制を整備。また、知財部門は競合他社の公報情報を事業部門へ遅滞なく配信するとともに、開発部門に対して定期的に説明会を実施するなど攻めの情報発信を行う。
- ③事業部門、営業部門、知財部門とが一丸となり、特許に関する情報を大々的に営業に活用。特に2010年に業界で初めて市場投入を開始した「セミセルフレジ」の事業展開にあたっては、展示会や営業資料上で特許の存在をアピールしパイオニアである点を強く印象付け、スーパーマーケット等での導入が急加速。さらに特許権の行使や特許を前提とした契約交渉によって、シェア拡大に知財が大きく貢献。



店員が商品登録し、買物客が精算を行う
セミセルフレジ「スピードセルフ」イメージ図



令和3年度全国発明表彰「発明賞」を受賞した
セミセルフレジ特許第 5783149 号の概要



重要な特許はポイントを
1枚にまとめ、
展示会・営業資料に活用



特許権、意匠権、商標権の
知財ミックスにて保護された
ペットボトル回収機
「ボトルスカッシュ」